

営農だより 野菜版 2号

JA 御殿場 農業振興課
2021年(令和3年)3月19日発行

☆適期管理・適期防除・適期収穫で品質の良い野菜を栽培しよう!!

さといもの栽培

1、植え付け準備

- ① さといもは生育期間が長い為、堆肥を植付け前に入れる。
- ② 基肥で窒素成分を効かせてしまうと木ぼけになる。
- ③ さといもは連作に弱い為、4～5年は栽培しない畑を選ぶ。

さといも肥料体系 (優良事例)

	施肥時期	資材名	施肥量	価格
堆肥	耕運時	牛ふん堆肥	100kg / 1a	15kg 530円
鶏糞	定植前	富士高原有機ペレット	80cmで1掴み	15kg 350円
基肥		粒状ようりん	160cmで1掴み	20kg 1,770円
		園芸化成 s550	80cmで1掴み	20kg 2,530円
		ジーン有機 s806	80cmで1掴み	20kg 2,670円
追肥	梅雨明け前	園芸化成 s550	80cmで1.5掴み	20kg 2,530円

2、種芋の選定⇒種芋の良否が品質、収量に大きく影響する。

- ① 無傷で病気になっていない種芋を選ぶ。
- ② さといもの芽が充実しているものを選ぶ。
- ③ 芋の大きさが60～80g位のものを選ぶ。
- ④ 子芋では大き過ぎる場合がある為、孫芋またはひ孫芋の中から選ぶ。

3、種芋消毒 (下のどちらかの方法で消毒しましょう)

薬剤名	対象病害	使用方法	使用回数	使用時期	価格
トップジン M 水和剤	黒斑病	20～30分種いも浸漬 200～500倍	1	植付前	1,290円(250g)
ベンレート T 水和剤 20		種いも粉衣 種いも重量 0.4～0.5%	1	植付前	600円(100g)

4、植え付け

- ① 植付け時期：4月の上旬～中旬を目標に植え付ける。
- ② 栽植密度：畝幅100～120cm、株間50～60cm
- ③ 植付け手順：1. 肥料散布
2. 種芋植え (植付けの深さは種芋の芽が地表から10～12cm)
3. マルチを張る。

※浅植えにし過ぎると芋の個数だけが増えてしまい、肥大不足となるため注意する。

5、植え付け後の管理

- ① マルチの穴あけ：植え付け3週間ほどで発芽してくるので、芽がマルチフィルムを突き上げてきた物から早めに手でマルチを破き、穴を開ける。
- ② 芽かき：親芋から2本以上芽が出てくる場合があるが、芽かきを行い1本立ちにする。

6、追 肥

- ①子芋が太る8月上旬に肥料切れがしないように梅雨明け前までに畝間に施用する。
- ②高度化成や速効性の肥料は濃度障害が心配となるため、多量施用は控える。

7、土寄せ⇒芋の形成、肥大に欠かせない重要な作業

- ①マルチ除去、追肥後の6月下旬～7月上旬（梅雨明け前）までに作業を行う。
- ②マルチ除去後、1回目の土寄せを行い、さらに10日後に子芋の芽を埋める様にかける。

8、収 穫

- ①収穫は10月中旬～11月にかけて行う。
- ②凍害を受ける前に掘り取り、貯蔵穴にしまう。
- ③貯蔵する時、厳寒期に入ったら、芋の防寒に努める。

9、防 除

薬剤名	対象害虫	倍率・使用量	回数	使用時期	価 格
※コテツフロアブル	ハスモンヨトウ	2,000 倍	2	収穫7日前まで	2,280 円(100ml)
アドマイヤー顆粒水和剤	アブラムシ類	10,000 倍		収穫14日前まで	4,540 円(100g)
ネマトリンエース粒剤	ネグサレセンチュウ	2.5 kg / 1 a	1	植付前	1,640 円(2 kg)

※毒劇物の為、購入する際には認印と身分証明書を持参して下さい。

ニラの栽培

お奨め品種：グリーンロード（株式会社サカタのタネ）
広巾にら（タキイ種苗株式会社）
播種時期：3月中旬～4月上旬

あぐり～んにて
注文できます。

1、栽培のポイント

- ・長期栽培するので、深耕して根張りを良くする。
- ・株疲れさせない様に、収穫は年1～2回とする。
- ・年2回の追肥を行い、勢い良く育てる。
- ・夏季には灌水を十分に行い乾燥させない様にする。

2、苗床準備

播種10日前に、(1㎡当り完熟堆肥3kg、苦土石灰(粒)100g、ナタネ粕70g、園芸化成s550 100g)を施肥し、良く耕す。

3、苗づくり

15cm間隔のまき溝を作ります。溝に1cm間隔で種を蒔き、5mmほど覆土する。生育を見ながら2回ほど追肥(1列あたり園芸化成s550を7g)し、草丈20cm前後に生長したら根を切らない様にして掘り上げます。

4、定植床の準備

掘った溝に元肥(溝の長さ10mあたり完熟堆肥4kg～6.5kg、油粕300g、園芸化成s550 230g)を入れその上に7～8cmの土をかけます。

5、植付け

根張りの良いものを1カ所に3～4株まとめて、10cm間隔で植付ける。

6、とう摘み

夏になるととう立ちしてくるので、早めに摘み取って株疲れを防ぎましょう。

7、追肥

1カ月に1回くらい生育の様子を見ながら追肥(畝の長さ10mあたり、油粕300g、園芸化成s550 165g)する。

8、収穫(翌年の春～初夏)

草丈が20cm～25cm程度になったら収穫し始めます。地上4～5cmで刈り取ります。3～4年繰り返し収穫し続ける事ができます。株が弱った頃、株分けして植え替えるか、新しく苗を育てて植付ける。

JA御殿場のレンタル農機事業知っていますか？

JA御殿場で導入しております、各種機械の貸出を行っておりますので、希望する方は直接 営農課(施設担当) TEL:84-4820 へお申し込み下さい。

レンタル機械ですので修理故障等により貸出できない場合がありますので、ご了承下さい。貸出期間は日数割を除き3日以内です。1日単位は24時間以内で貸出日数となります。価格については変更する場合があります。

～排水対策～

野菜を栽培する上で過湿により病害や生育障害を助長し、収穫量の減少を招きます。弾丸暗きょや額縁明きょなどの排水対策を万全に行い、排水の良い圃場を作りましょう。

額縁明渠を切って余計な水を流しましょう

ほ場の中に低い場所があると、そこに水が溜まりやすくべと病や疫病の発生源となります。雨の後などに水の溜まり方を確認し、ほ場の傾斜や水の流れを考慮して溝を切り停滞水を防止しましょう。明渠の深さは20cm以上を心がけてください。

※べと病や疫病は雨による泥はねや水たまりから感染します

サブソイラーによる弾丸暗渠

サブソイラーを施工することで、ほ場の排水性が向上します。

弾丸暗渠の施工にサブソイラーを用いると、湿害の原因となる硬盤を破碎し、水の縦浸透が良くなります。硬盤破碎は乾田化を促進し、野菜の生育環境を良好にする効果があります。

リターンティッチャ

4,000円/10a

20,000円/1日

搬送費別途

ほ場の水はけの

改良に使用します

サブソイラー

4,000円/10a

20,000円/1日

搬送費別途

ほ場の水はけの

改良に使用します

